

農政局だより@ひょうご

2022.11
H-SATT

〒650-0024

神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎

TEL:078-331-5924 email:hyogo28_hsatt_kinki@maff.go.jp



棚田地域振興制度について説明会を実施しました



令和4年11月8日、つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～に選定された「飯見の棚田」がある宍粟市波賀町飯見地区で、「棚田地域振興法にかかる説明会in飯見」が開催されました。

説明会では、宍粟市飯見地区の集落関係者及び宍粟市役所担当者等に、棚田地域振興コンシェルジュである地方参事官より、「棚田地域振興法」の概要、指定棚田地域の指定申請、協議会の組織等の制度についての説明を行いました。

続いて兵庫県の担当者より、指定までのスケジュールや兵庫県独自の支援策等の説明に続き、兵庫県内で既に指定を受けている地域の紹介がありました。



当日の説明資料

参加者からは、今後の指定に向け、協議会の構成員や策定する活動計画の内容等についての質問があり、前向きで活発な意見交換が行われました。



～ 宍粟市飯見地区の棚田 ～

飯見は山の斜面に17.2ヘクタール、171枚の棚田が広がる地域。棚田米のブランド化に力を入れています。



令和4年度輸出に取り組む優良事業者表彰の募集について

近畿農政局では、平成30年度より、優れた輸出事業者の取組を広く紹介することによって、我が国の農林水産物・食品の輸出を促進するため、これら事業者に対して表彰を行っているところです。

令和4年度においても、今後の更なる輸出拡大に向け、農林水産物・食品の輸出に取り組む事業者の輸出意欲を喚起するため、近畿農政局管内の優れた輸出事業者に対し表彰を行い、その取組を広く紹介することとします。

◇応募対象

農林水産物・食品の輸出に係わる業務に携わる団体（企業、法人、任意団体等）又は個人。農林漁業者だけでなく、製造業者、販売業者、流通業者なども対象。また自薦・他薦を問いません。

◇募集期間：令和4年10月31日（月）～ **令和5年1月13日（金）**

詳しくは

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/keiei/zigyo/221031.html>

農林水産省



～安全・安心を食卓へ！～

〈NF Farm 狭間健治さん・瞳さん〉

平成28年に結婚と同時に就農し養父市大屋町にIターン、有機JAS認定を取得し、有機野菜を中心に栽培している狭間健治さん・瞳さんご夫妻にお話を伺いました。

－有機農業をはじめたきっかけ、また屋号の由来は？－

飲食店勤務時に有機野菜のおいしさに感動したことをきっかけに、就農の研修や有機農業塾等を受講し、周りの薦めもあり自然豊かで国家戦略特区である養父市に移住しました。

「NF」には、農業を自然「Nature」から学び、食や環境の未来「Future」を消費者と一緒に考えるという思いが込められています。



有機JAS認証ほ場のにんじん

－現在の経営概況や活動状況は？－

約1.6haの農地では、1.2haでピーマンや人参などの有機野菜を、0.4haで慣行栽培の水稻を作っています。また昨年からは、お子さまにも食べてもらえるように有機栽培の人参を使用したニンジンジュースも生産販売しています。

販売先は直売所や飲食店をはじめ、地元のグループに参加し大手スーパー等にも出荷しています。また最近ではレンタカーで但馬地域の有機農産物生産者を回って集荷してくれる姫路の飲食店もあります。



－今後の目標は？－

今後は研修生の受け入れの検討や、また子育て世代の家庭に有機農産物を食べてもらうよう学校給食への提供の実現に向け活動しており、将来は有機農産物が特別なものでなく食卓に当たり前にならぬものにしていきたいです。



出荷を待つ有機農産物

東播用水土地改良区（三木市）が
「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」に選定されました

農山漁村活性化の優良事例である「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」第9回選定として、37地区が選定されました。また、このうち特に優良な事例について、グランプリ、優秀賞及び特別賞が選定されました。

兵庫県から東播用水土地改良区(三木市)がコミュニティ・地産地消部門で選定されました。

詳しくは <https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/221107.html>



東播用水土地改良区

兵庫県立香住高等学校 プラスワングループ
海洋科学科

また、近畿農政局は、応募のあった事例の中から、近畿独自の特徴ある優れた取組について、近畿「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」として、7地区と1名が選定されました。兵庫県からは、兵庫県立香住高等学校海洋科学科(香美町)、プラスワングループ(川西市)の2地区が、ビジネス・イノベーション部門で選定されました。

詳しくは <https://www.maff.go.jp/kinki/press/keikaku/nousonshinkou/221107.html>



農業女子アワード2022の募集を開始！

～女性農業者や若者を対象としたビジネスコンテストを実施～

農林水産省は、農業における女性や若者の活躍を推進しています。

農業女子プロジェクトメンバーを始めとする女性農業者や若者の今後の食・農・くらしの活性化に向けたビジネスアイデア、年齢、性別に関わらず個性を活かした農業経営を行っている家族・法人を募集します。

募集期間：

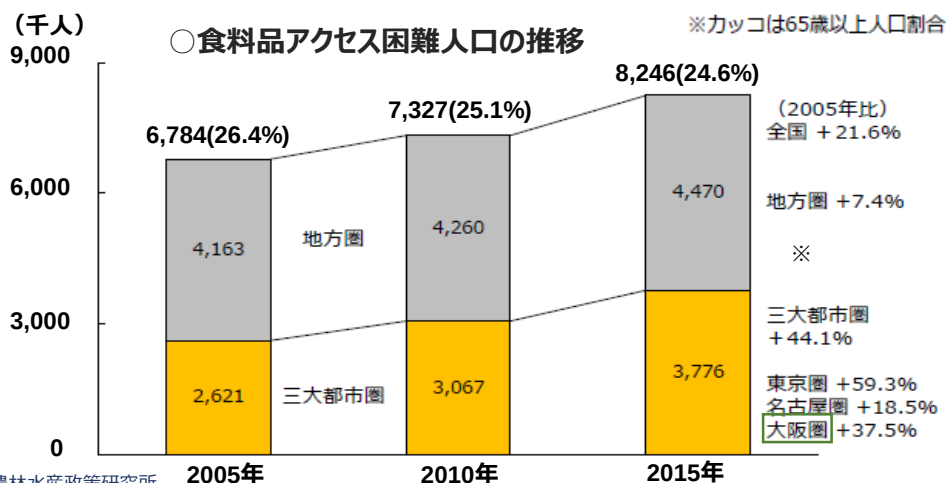
令和4年10月17日(月)～令和4年12月16日(金)17時必着

詳しくは <https://www.maff.go.jp/j/press/keiei/kourei/221017.html>



全65歳以上人口の24.6%、825万人が買い物難民に

近年、大型商業施設の郊外化、徒歩圏で行ける飲食料品店の減少、集約化等に伴い、過疎地域のみならず都市部においても、食料品アクセス困難人口※が増加しています。



※食料品アクセス困難人口とは、店舗(食肉、鮮魚、野菜・果実小売業、百貨店、総合スーパー、食料品スーパー、コンビニエンスストア)まで500m以上かつ自動車利用困難な65歳以上高齢者を指します。

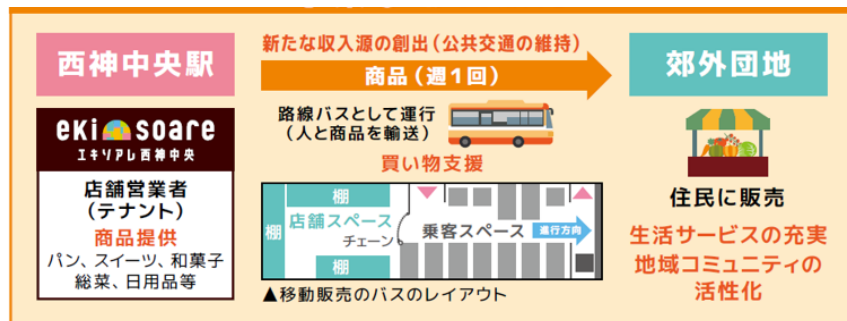
路線バスを活用して貨客混載の実証事業を行っています ～人と一緒にモノを運ぶ～

公共交通機関で乗客と貨物を一緒に運ぶ「貨客混載」の制度を生かした試みが広がっています。



○神姫ゾーンバス(株)が実施している「既存のバス路線を活用した貨客混載プロジェクト」

路線バスが地域の足として重要な役割を担い続けていくために、モノの運搬によるあらたな収入源を得ながら地域にとって必要な生活サービスの充実並びに地域コミュニティの活性化等を目的として行う実証事業が行われています。



人の絆とつながりのある地域力の強化をめざして

移動販売先の神戸市西区月ヶ丘地区は、高齢化率が36%と神戸市の平均(29%)を上回っています。

利用者からも「近くまで販売にきてくれ、地元にはないものが購入できありがたい」と好評のようです。実証実験は来年2月までの予定で、今後、利用者からのアンケートを参考に、販売商品を増やしていくことなども検討されています。



【実際の販売の様子】
毎週水曜日の日曜にパンやお弁当などを販売

【産官学連携】

東播磨の地域食材(大麦)を活用した商品を開発

－ 大麦を活用した新商品(大麦入りクラムチャウダー及び大麦入りドレッシングサラダ) お披露目会が開催されました －

－4者連携協定－

兵庫県立農業高等学校 × (株)オシス × JA兵庫南 × 東播磨県民局



令和4年2月「東播磨の地域食材等活用に関する連携協定」が締結されました

当日は、大麦生産者も参集し、連携協定の関係者から商品化への経緯や秘話等の紹介がされました。新商品の試食も行われ、どちらも米粒麦のプチプチとした食感が活かされ、冬に向けクリーミーな味付けとなっているのが特徴です。

販売期間：クラムチャウダーのリゾット風・・・11月22日～
大麦入りドレッシングサラダ・・・11月30日～

それぞれなくなり次第終了の期間限定で販売されます。



4者連携協定では、大麦をJA兵庫南が調達・調整し、それを原料として高校とオシスが協力して商品開発、生産に取り組み県民局が積極的なPRなどの支援を行います。

安富ゆず工房

～「安富には、ゆずがある」と胸を張って～



安富ゆず工房 大きいゆずが目印

ーゆずを町の特産品にしたいーそう考えた安富町の協力のもと、平成8年に安富ゆず工房が設立されました。

現在、農事組合法人安富ゆず組合の組合員約50名がゆずを生産しており、組合で年間の栽培スケジュールを考えたり、毎年栽培講習会を開催して、品質の良いゆずを育てられるよう努めています。

安富ゆず工房おすすめの商品は「柚子のしずく」。やさしく絞ることで苦みを少なくしたゆず果汁は「お酒に混ぜてもお料理に加えても美味しい。」と、お客様からご好評をいただき、学校給食でも使っていただいています。



収穫を迎えたゆず



代表理事の横野さん

また、安富町では小豆も栽培されており、ゆずと小豆の2つの特産品を使って商品化した「ゆずと小豆のジャム」は、令和3年度優良ふるさと食品中央コンクール新製品開発部門で農林水産省大臣官房長賞に選ばれました。

ゆずマーマレードと小豆ジャムの二層になっており、1瓶で「ゆず」だけ、「小豆」だけ「ゆずと小豆をミックス」の3種類の味を楽しんでいただけます。

「地域の雇用の場でもある安富ゆず工房を、これからも続けていきたい。」「見学や『トライやる・ウィーク』などの活動を通じて、地域の子供達にゆずの良さを教えていきたい。」「『安富にはゆずがある』と、子供達に胸を張ってほしい。」これが、安富ゆず組合の願いです。



柚子のしずく



ゆずと小豆のジャム

安富ゆず工房の商品は
★旬彩蔵
★ふあ～みんSHOP
★ひょうごふるさと館
★安富パーキングエリア
でも販売されています。

名称：安富ゆず工房（直売所）
所在地：兵庫県姫路市安富町長野320-1
TEL：0790-66-2801
休業日：月曜（※月曜が祝日の場合、翌平日）
※詳細についてはホームページをご参照ください
HP：<https://yuzu-yasutomi.com/>



★イベント情報はこちらから↑↑

各種イベントにも
出店しています。

兵庫県から
のお知らせ

県産農林水産物の消費喚起と県内生産者応援のための

みけつくに

おいしい御食国ひょうご買って応援キャンペーン！

実施のご案内

◇キャンペーン内容

キャンペーン参加店舗で県産農林水産物及びその加工品等の購入者に、1回の購入金額2,500円(税込み)につき、次回来店時に利用できる金券500円が進呈されます。

※1回の会計で進呈する金券の上限は4枚です（10,000円以上購入時）

◇期間

金券進呈期間：令和4年11月19日(土)～令和4年12月31日(土)

金券利用期間：令和4年11月19日(土)～令和5年 1月31日(火)

※各店舗により、開始日・終了日が変わります

◇キャンペーン参加店舗：県内農林水産物直売所 98店舗

参加店舗はコチラでCheck

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk06/chokubai-campaign-r4.html>



兵庫県マスコット
「ははたん」



兵庫の 秋 の風景

さいようさんこうえん

最上山公園「もみじ山」（宍粟市）



「日本紅葉の名所100選」にも選ばれており、最盛期は山全体が燃えるように美しく染まります

編集後記

先日、兵庫県立フラワーセンターで開催された「北播磨『農』と『食』の祭典」に参加してきました。生産者や高校生による農産物やスイーツ、日本酒の販売など地場産業に触れ合え、大変有意義な一日となりました。今後も、各地でイベントが計画されているようです。九州出身であり、未知なる兵庫県の新たな魅力を発見するために、機会を見つけて参加していきたいと思ひます。(T・M)



地 方 参 事 官 ホ ッ ト ラ イ ン

農政に関するご相談、事業や制度へのご意見・ご質問などがございましたら、お気軽に地方参事官ホットラインまでお問い合わせ下さい。また、広報誌に対するご意見等もお待ちしています。

TEL：078-331-5924 FAX：078-331-5177